



師田 保

質問

新潟・群馬県境にある三
国トンネルは関越高速道が
開通した現在でも群馬と新
潟を結ぶ唯一の一般道とし
て重要な役目を果たしてお
ります。しかし、昭和32年
の完成から50年が経過し老
朽化が進み、現在、新三国
トンネル建設計画が進めら
れております。この新三国
トンネル開削は単に交通安
全のためのみならず三国地
区住民にとっては幹線道路
としての機能確保と整備に
よる交通量の増大による地
域経済の活性化が図られる
という観点から一日も早い
開削要望が出されているの
も周知の事実であります。
この開削問題に関して平成
15年6月定例会でも私は一
般質問をしており、その後
4年が経過しておりますが

未だ明確な回答をいただい
ておりません。そこで今後
町長はこの問題に対しどの
ように取り組んでゆくか、
現在までの進捗状況は、今
後町としてどのような要望
活動を展開してゆくつもり
か、などについて町長の考
えを伺います。

町長答弁

この新三国トンネル開削
に関しては平成12年合併前
の新治村と開削促進期成同
盟会を組織し関係各庁に要
望活動を行ってきたところ
であります。今後引き
続き水上町と連携し、早期
着工に向けて積極的に要望
活動を展開してゆくつもり
であります。現在までの進
捗状況については、平成14
年度までは環境地質調査15
年度から18年度までは概略
ルートへの検討、トンネルの
予備設計等が実施されてき
ました。19年度についても

**国道17号新三国トンネル
開削の進捗状況について**

関東地方整備局高崎河川国
道工事事務所の19年度の主
要事業の一つとして事業が
進められているところであ
ります。昨年は議会及び地
元の皆様の出席をいただ
き、国土交通省関東地方整
備局高崎河川国道工事事務
所に地元の皆様の生の声を
届けると共に要望書を提出
してまいりましたが、本年
も適切な時期に水上町と連
携を図りながら両県選出の
国会議員及び関係機関に対
し積極的な早期着工に向け
た要望活動をしていきたい
と考えております。

**旧三国街道の
整備について**

質問

近年の自然志向の中でト
レッキングや登山の入込み
は年々増加しております。
そんな中で平成21年には旧
三国街道を舞台に南魚沼に

ゆかりのある直江兼続を
主人公にしたNHKの大
河ドラマの放映も決定さ
れたそうです。町もこの
機会に観光施策の一環と
して旧三国街道の整備に
本腰を入れ、合わせて昨
年の大雪で損傷の激しい
三国峠の権現様避難小屋の
修復を早急に進めるべきと
考えています。町長の考
えを伺います。

町長答弁

旧三国街道整備につきま
しては素晴らしい構想であ
ると考えておりますが、費
用対効果の問題、今後発生
するであろう維持管理の問
題など、厳しい財源下では
慎重な検討が必要と考えて
おります。三国権現様修復
については群馬県側と新潟
県側の双方で維持管理をし
てきた経緯もあり、詳細を
調査の上早急に協議を開始
するよう指示したところで
あります。

質問

上越新幹線が開業してか
ら25年が経過し、JRは沿
線各所で開業記念イベント
を行っています。2014
年北陸新幹線全通問題を抱
えている当町もこの機会を
観光立町湯沢PRの絶好の
機会を捉え、JR越後湯沢
駅とタイアップした開業記
念観光企画を持つべきと考
えますが、町長の考えを伺
います。

町長答弁

現在町としてはこの開業
25周年を期に、駅構内への
観光インフォメーションセ
ンターの設立、上越新幹線
設立の生みの親岡村貢先生
の胸像の湯沢への移転など
も地元の方と協議を進めな
がら実現したいと考えてい
る所です。



修復が急がれる三国権現避難小屋

一
般
質
問